

FACT BOOK I

(中期経営計画概要、各事業データ集)

2007

2007年3月期

証券コード：9101



日本郵船

2007年5月9日 作成

<http://www.nykline.co.jp/ir/>

目 次

1	企業理念
2	日本郵船企業行動憲章
3	業績ハイライト、セグメント別売上高
4	NYK グループ中期経営計画 “New Horizon 2007” —中間見直し—
7	事業別データ
7	コンテナ船
10	自動車船
11	ドライバルカー(撤積船)
13	タンカー(油槽船)
15	LNG船
16	物流事業
18	ターミナル関連事業
19	客船事業
20	航空貨物
22	日本郵船グループの運航船舶
23	SRI からの評価
24	投資家情報

※当資料に記載している見通し数値は、当社が現在入手可能な情報から判断したものです。
経済情勢、為替相場、市況などの動向により変動する場合がありますことをご了承ください。

企業理念

基本理念

わたくしたちは、海・陸・空にまたがるグローバルな総合物流企業グループとして、安全・確実な「モノ運び」を通じ、人々の生活を支えます。

経営方針

- **お客様とともに**

お客様から選ばれ信頼されるパートナーであり続けるために、現場第一に徹し、創意工夫に努め、新たな価値の創造を追求します。

- **株主・投資家の皆様とともに**

公正かつ透明な経営を実践し、効率的な事業活動を通じて、企業価値の増大を目指します。

- **社会とともに**

良き企業市民として積極的に社会の課題に取り組み、環境の保全をはじめとして、より良い地球社会の実現に貢献します。

- **グループ社員とともに**

グローバル企業として、社員の多様性と挑戦する気概を尊重し、人材育成に力を注ぎ、夢と誇りを持って働ける日本郵船グループを目指します。

日本郵船企業行動憲章

当社は、1885年の創立以来、幾多の困難を乗り越えて、世界海運のリーダーとして健全なる発展を重ねてきた。

当社は、世界経済・文化の発展の礎として、人及び物の広汎な交流の重要性を認識し、安全かつ高品質なサービスの提供にまい進するとともに、総合物流事業者及び客船事業者として時代の要請に沿ったサービス向上に向けて、たゆまぬ研鑽に励み、また、市民社会の一員として人権を尊重し、法に適合するのはもとより、社会倫理規範に則った経営を営むことにより、持続可能な社会の発展に貢献しようとの認識のもとに、ここに「日本郵船企業行動憲章」を定める。

1. 社会的使命	総合物流事業及び客船事業に課せられた、安全かつ高品質なサービスを提供するとの社会的使命を自覚し、お客様の要望に謙虚に耳を傾け、その期待と信頼に応え、公正な企業運営を通して適正な利潤を確保し、株主に報いるとともに、ステークホルダーとの対話を通して、社会の発展に貢献する。
2. 船舶安全運航と地球環境の保全	船舶の安全運航を最重要課題と認識し、国際的安全基準に基づく安全対策の充実及び強化を図るとともに、安全運航技術の向上のために研鑽する。 海洋を地球の貴重な財産と認識し、環境方針を定め、海洋汚染の防止及び良好な地球環境の保全に努める。
3. 保安体制の強化	非合法活動による国際物流ネットワークの遮断や悪用、また当社が所持する情報への不正なアクセス及び漏洩などを防止するため、保安の確保とその維持に努める。
4. 諸法令の遵守	企業は社会の一員であることを自覚し、正義と公正を旨として、法令遵守はもとより、地域の善良な文化や慣習を尊重し、善良なる社会倫理規範にもとることのない企業活動を遂行する。
5. 反社会的勢力の排除	市民生活の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体とは、断固として対決する。
6. 情報開示と社会とのコミュニケーション	積極的に、適時に適正な企業情報を開示し、広く社会とのコミュニケーションを図る。
7. 良好な職場環境の保全等	社員の多様性、人格、及び個性を尊重し、良好な職場環境の保全に努める。

経営者は本憲章の精神の実現を自らの役割と認識して率先垂範し、社内に徹底するとともに関係先へ周知し、実効ある社内体制を整備する。また、万一、法令違反や不祥事、その他本憲章に反する重大な事態や緊急事態が発生した場合、経営者は迅速かつ的確に原因究明と問題解決に努め、さらに再発防止に責務を負う。

平成9年12月19日制定

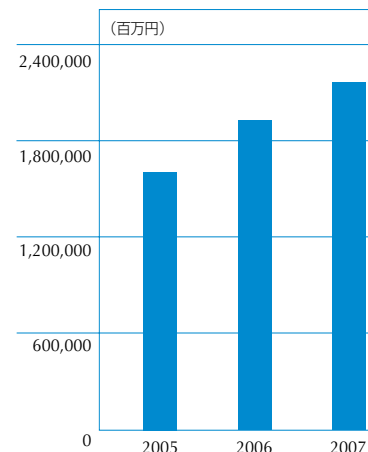
平成16年8月26日改正

業績ハイライト

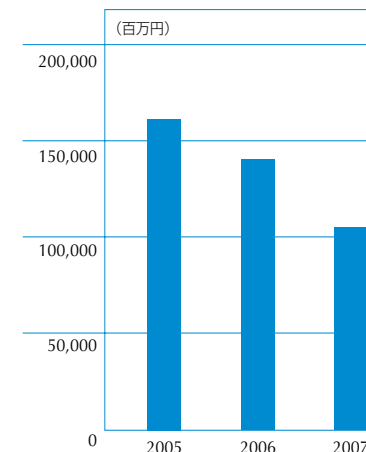
	(百万円)		
(各年3月期)	2005	2006	2007
売上高	¥1,606,098	¥1,929,302	¥2,164,279
営業利益	161,375	140,481	104,941
経常利益	154,803	140,451	107,534
当期純利益	71,326	92,058	65,037

(各年3月期)

売上高



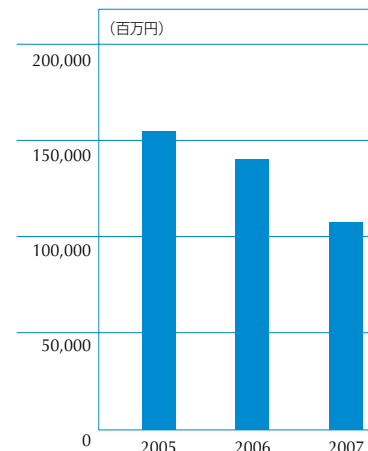
営業利益



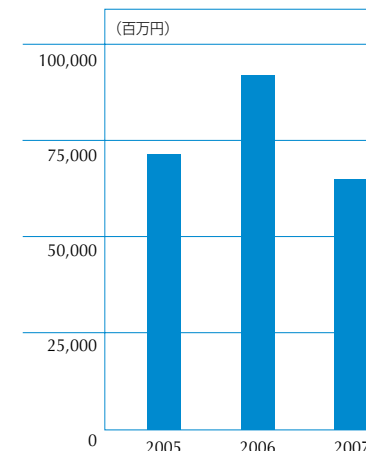
セグメント別売上高

	(百万円)		
(各年3月期)	2005	2006	2007
定期船事業	¥ 457,044	¥ 539,178	¥ 573,993
その他海運事業	571,790	677,736	783,299
(海運業)	1,028,834	1,216,914	1,357,292
物流事業	357,197	426,431	482,700
ターミナル関連事業	109,009	111,475	126,899
客船事業	33,432	40,750	44,140
不動産業	12,955	12,523	11,634
その他の事業	146,670	234,269	275,152

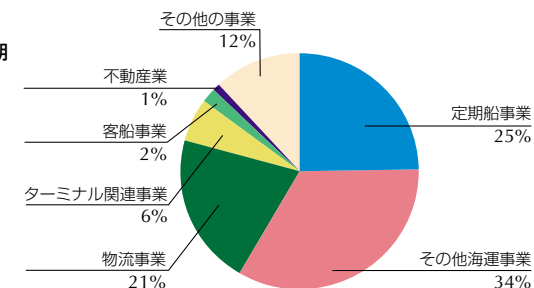
経常利益



当期純利益



売上高構成比
2007年3月期



業績 実績と目標

(実績・計画ともに2007年5月9日時点)

	(億円)		
(各年3月期)	2006	2007	2008
	実績	実績	計画
売上高	19,293	21,642	22,400
(策定時)	16,400	17,500	18,000
経常利益	1,405	1,075	1,300
(策定時)	1,500	1,600	1,600
当期純利益	921	650	820
(策定時)	900	950	950

(計画の前提)

(各年3月期)	2006	2007	2008
為替	¥113.09/\$	¥116.91/\$	¥115/\$
(策定時)	¥100/\$	¥100/\$	¥100/\$
バンカー	\$283.08/MT	\$318.77/MT	\$330/MT
(策定時)	\$200/MT	\$200/MT	\$200/MT

成長と財務安定性のバランス

(実績は2007年5月9日時点、計画は2006年11月9日時点)

	(億円)			
(各年3月期)	2005	2006	2007	2008
	実績	実績	実績	計画
期末有利子負債	6,301	7,660	8,907	8,900
(策定時)	6,450	6,100	6,100	6,300
期末株主資本	4,278	5,754	6,570	6,680
(策定時)	4,080	4,800	5,570	6,330
株主資本比率(%)	29%	31%	31%	32%
(策定時)	28%	32%	35%	38%
DER(%)	147%	133%	136%	133%
(策定時)	158%	127%	110%	100%
営業キャッシュ・フロー	1,755	1,387	862	1,710
(策定時)	1,320	1,480	1,550	1,630
投資キャッシュ・フロー	-1,351	-1,705	-1,780	-1,450
(策定時)	-1,220	-1,130	-1,520	-1,860

この資料に掲載されている予測、目標および計画等は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

戦略1 海運事業の拡充

- バルク・エネルギー輸送部門を中心とした海上輸送の拡大に応える船隊拡充
- より一層の収益安定化

“世界をリードする、
グローバルな海・陸・空の
総合物流企業グループ”へ

戦略2 ロジスティクス・インテグレーターへの飛躍

- 自動車関連産業、エレクトロニクス他製造業、小売業のお客様に対する高品質な総合物流サービスの提供
- コンテナ・自動車・物流・港湾各サービスの品質強化と一体化
- 海・陸・空3面からのサプライチェーン効率化
- 自営港湾インフラ強化による海上輸送の安定供給

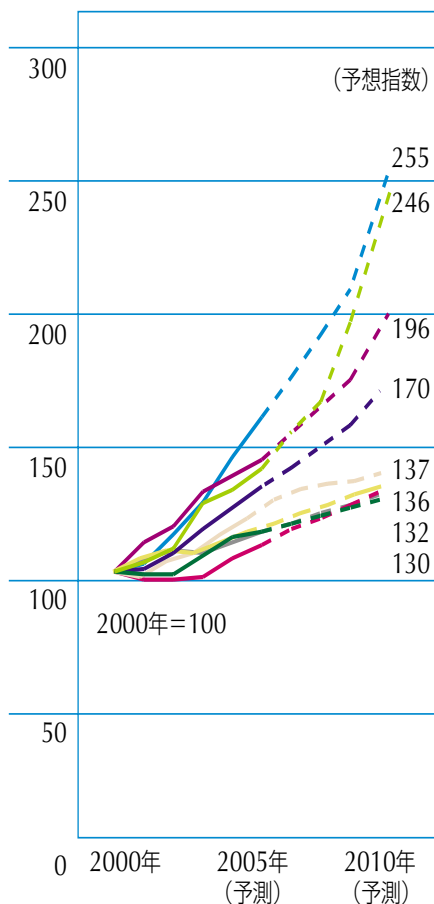
力強い成長戦略の加速と
企業基盤の安定化

戦略3 企業基盤の強化

- 環境経営の推進と安全運航の徹底
- グローバルなフィールドでの人材育成と活用
- MTIを中心とした技術力強化と研修教育の充実
- 情報を駆使した経営の実現
- CSRマネジメントの推進

NYK21
Forward 120

世界の海上荷動量推移と今後の予測



	2000	2005 (予測)	2010 (予測)
LNG	100	139	255
コンテナ	100	158	246
一般炭	100	142	196
鉄鉱石	100	132	170
自動車	100	120	137
原料炭	100	110	136
穀物	100	115	132
原油	100	115	130

出典：IEW “World Energy Outlook 2004”等

運航船隊規模 実績と計画

(年度)	2004 (年度末)	2005-2007 (2007年度末)	2008-2010 (2010年度末)
ドライバルク・タンカー・LNG船 etc.	371隻	(110) 484隻	(127) 599隻
(策定時)	400隻	(109) 480隻	(87) 560隻
自動車船	98隻	(25) 110隻	(28) 135隻
(策定時)	90隻	(22) 110隻	(17) 115隻
定期船 etc.	177隻	(36) 193隻	(37) 198隻
(策定時)	170隻	(27) 190隻	(16) 205隻
合計	646隻	(171) 787隻	(192) 932隻
(策定時)	660隻	(158) 780隻	(120) 880隻

(括弧内：期間内新規投入隻数。但し、5年未満の短期備船は含まず。)

2006年11月9日時点

投資計画推移(備船・リースを含む)

(億円)

(年度)	2005-2007		2008-2010	
	策定時	見直し後	策定時	見直し後
船舶投資額	7,500	8,200	6,300	10,900

竣工ベースの投資額

(年度)	2005-2007		2008-2010	
	策定時	見直し後	策定時	見直し後
船舶投資以外の投資額	1,830	3,050	1,900	3,260
(内訳)				
物流	370	530	400	400
NCA	0	780	0	1,360
その他	1,460	1,740	1,500	1,500

2006年11月9日時点

事業別データ

コンテナ船

フルコンテナ船オペレーター別運航船腹量(上位20社)

2006年 ランキング	会社名	2007年1月現在		2005年 ランキング	2006年1月現在	
		隻数	TEU		隻数	TEU
1	Maersk Line / Safmarine	505	1,623,701	1	516	1,541,411
2	MSC	282	982,481	2	239	740,091
3	CMA CGM / Delmas ANL Container Line	234	635,003	4	181	454,102
4	Evergreen / Italia Marittima Hatsu Marine	160	548,747	3	145	468,091
5	Hapag Lloyd	128	440,544	5	121	386,649
6	COSCO (Group)	125	375,762	7	118	311,294
7	China Shipping	86	355,837	8	76	306,758
8	Hanjin Shipping Senator Lines	80	335,763	6	79	327,173
9	NOL (APL)	93	312,965	9	89	297,121
10	日本郵船/東京船舶	106	309,988	10	105	285,216
11	Orient Overseas Container Line	74	296,335	12	61	232,697
12	商船三井	90	280,055	11	75	237,952
13	川崎汽船	80	260,560	14	69	217,584
14	Yang Ming Line	86	250,676	16	71	187,413
15	CSAV	75	223,241	13	83	226,096
16	Zim Integrated Shipping Gold Star Line	84	222,889	15	74	189,928
17	Hamburg Sud / Alianca	81	190,544	17	77	173,103
18	Hyundai Merchant Marine	38	165,059	18	40	150,289
19	Pacific International Lines	87	132,282	19	87	125,510
20	Wan Hai Lines	66	109,242	20	63	108,347
全フルコンテナ船		3,885	9,335,773	3,554		8,025,325
上位10社のシェア		63%		64%		
上位20社のシェア		86%		87%		

出典：MDS2007年度2月版より日本郵船調査グループにて集計

基幹航路(太平洋・大西洋・欧州航路)におけるメガキャリア/アライアンスの船腹量

会社または アライアンス名	2007年1月現在		2006年1月現在		メンバー船社
	隻数	TEU	隻数	TEU	
CKYH (commonly called)	186	931,007	187	825,283	COSCO 川崎汽船 Yang Ming Line Hanjin Shipping
Grand Alliance	119	639,475	111	579,995	日本郵船 Orient Overseas Container Line Hapag Lloyd MSC (Asia/Europe Service Only)
The New World Alliance	94	493,753	91	457,599	NOL (APL) 商船三井 Hyundai Merchant Marine
Maersk Line	161	870,872	148	734,974	
MSC	80	513,224	84	403,394	
Evergreen	83	397,404	76	338,200	含むItalia Marittima, Hatsu Marine
CMA CGM	74	368,949	70	280,875	含むANL Container Line
China Shipping	52	276,993	50	252,877	

備考：1. アライアンスの運航船腹量について、メンバーがアライアンスの枠外で基幹航路に配船している例がありますが、それは除いています。

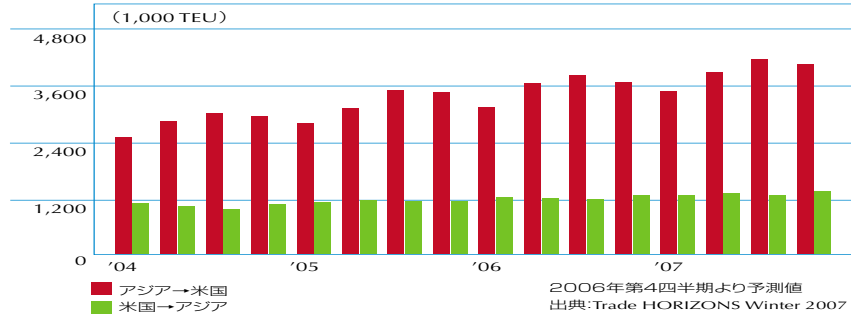
2. 単独オペレーターが、共同配船によりサービスを行なっているものについては、自社運航船をそのサービスにおける運航船腹量と見なし、計算しています。

出典：MDS2007年度2月版より日本郵船調査グループにて集計

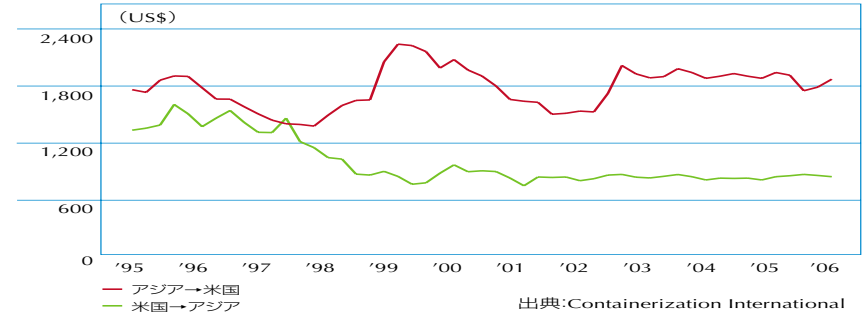


コンテナ荷動・運賃推移

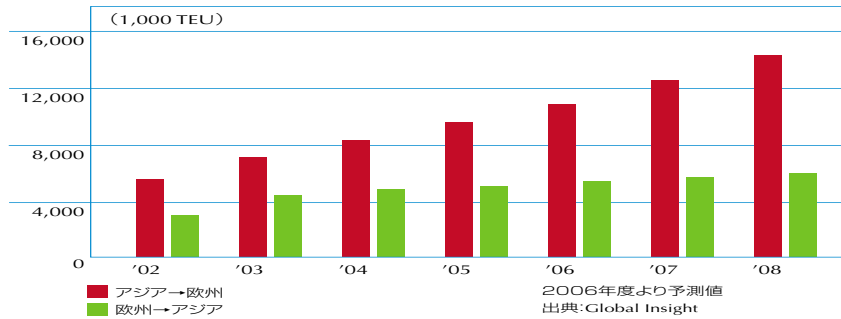
アジア↔米国荷動き (四半期毎)



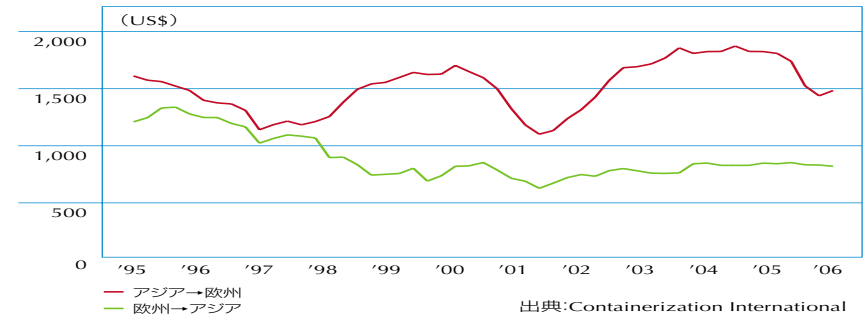
アジア↔米国TEU当たり運賃



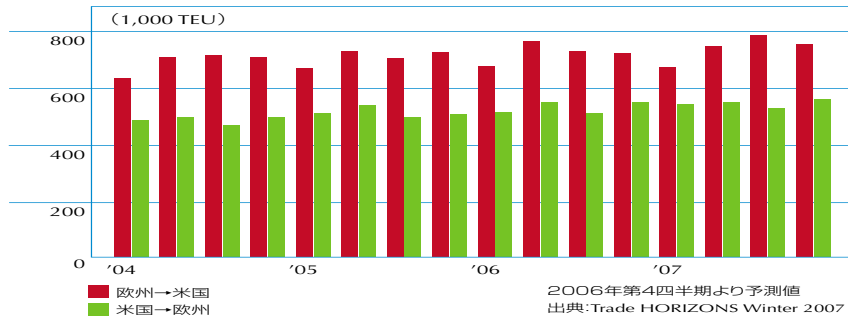
アジア↔欧州荷動き (年毎)



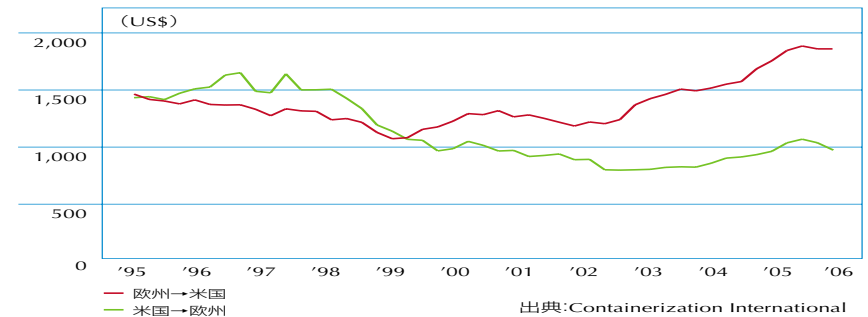
アジア↔欧州TEU当たり運賃



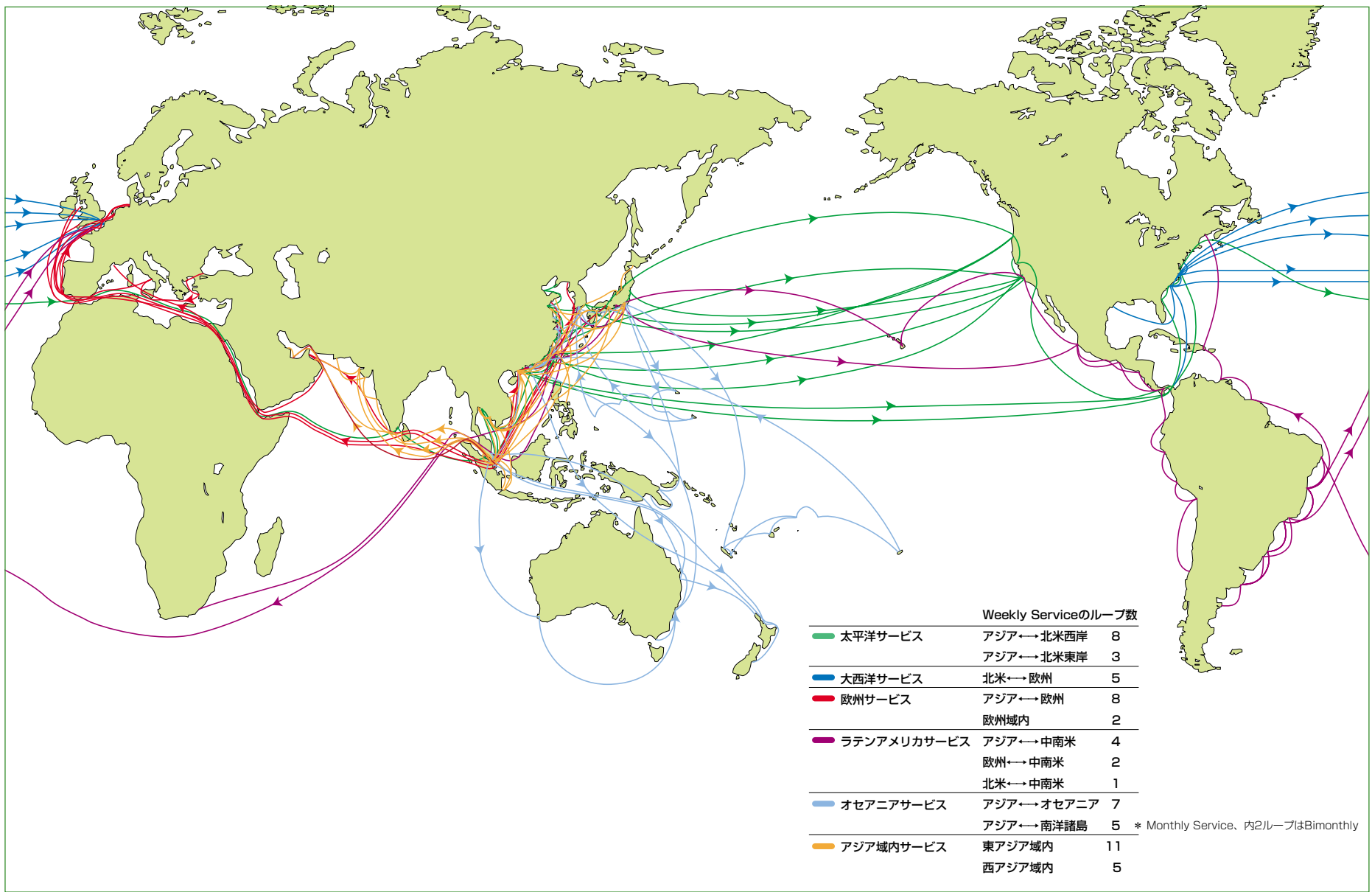
欧州↔米国荷動き (四半期毎)



欧州↔米国TEU当たり運賃



●
コンテナサービスネットワーク



2007年3月時点

世界の主要船社 自動車専用船隊ランキング

(2007年1月1日現在)					
	隻数	シェア(%)	台数	シェア(%)	
1	日本郵船	91	17.5%	451,032	18.0%
2	川崎汽船	74	14.2%	350,556	14.0%
3	EUKOR	74	14.2%	358,102	14.3%
4	商船三井	72	13.8%	365,867	14.6%
5	Wallenius Wilhelmsen Line	61	11.7%	343,815	13.7%
6	HOEGH	36	6.9%	189,996	7.6%
7	GRIMALDI (NAPLES)	32	6.1%	124,704	5.0%
8	CCCS	28	5.4%	115,634	4.6%
9	N.M.C.C.	10	1.9%	47,635	1.9%
10	トヨフジ海運	8	1.5%	39,743	1.6%
	Others	35	6.7%	125,585	5.0%
	Total	521		2,512,669	

出典：Hesnes Shipping As “The Car Carrier Market 2006”

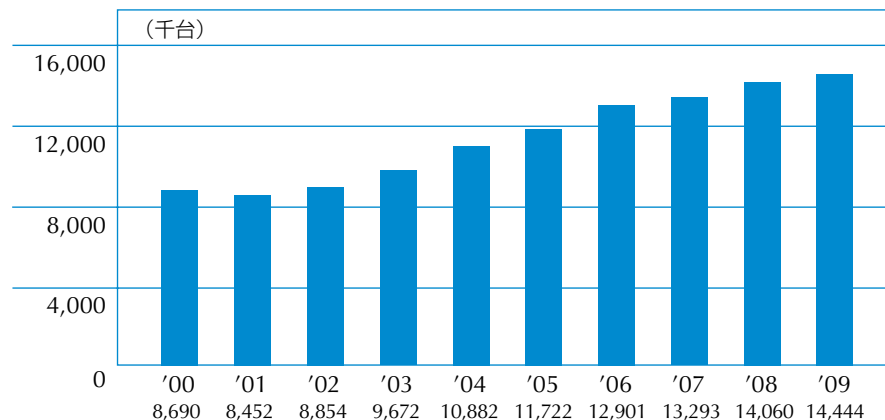
備考：キャパシティ2,000台以上の自動車船のみを対象としております。

日本の自動車輸出推移(仕向地別)

	(千台)							
(各年3月期)	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
アジア	323	420	330	468	532	489	405	379
中近東	283	307	405	426	450	451	561	614
ヨーロッパ	1,253	1,066	895	1,004	1,177	1,268	1,222	1,358
北米	1,740	1,814	1,876	2,029	1,751	1,745	1,981	2,539
中米	145	117	112	149	158	192	228	254
南米	131	182	175	133	125	169	192	247
アフリカ	122	102	102	149	148	192	223	281
太洋州	330	358	341	400	420	457	435	446
その他	11	7	8	8	9	12	10	9
全地域合計	4,342	4,376	4,248	4,771	4,774	4,978	5,257	6,130

出典：日本自動車工業会

世界自動車荷動き台数(地域間荷動き)



出典：日本郵船調査グループ

ドライバルカー(撤積船)

ドライバルカー船隊ランキング

(2007年1月1日現在)					
ランキング	会社名	重量トン(千DWT)	隻数	うちCapesize	
				重量トン(千DWT)	隻数
1	COSCO	19,471	324	5,467	34
2	商船三井	11,408	145	6,171	35
3	日本郵船	9,870	119	4,844	27
4	川崎汽船	9,515	92	5,629	32
5	Zodiac Maritime Agency	7,304	62	5,714	35
6	China Shipping	4,454	121	—	—
7	K.G. Jebsen	4,227	85	1,340	12
8	Cardiff Marine Inc.	4,150	42	1,969	11
9	Enterprises Shipping	4,034	52	2,188	13
10	日鮮海運	3,645	35	2,112	12
11	Hanjin Shipping	3,643	34	3,101	19
12	正栄汽船	3,468	35	2,083	11
13	Angelicoussis Group	3,279	25	2,677	16
14	General Ore Corp.	3,075	13	3,075	13
15	Bergesen Worldwide	3,020	12	3,020	12
16	第一中央汽船	3,012	39	1,472	9
17	Marmaras Nav. Ltd.	2,932	37	1,452	9
18	STX Pan Ocean	2,788	47	1,271	7
19	Hebei Ocean Shipping	2,784	22	2,053	12
20	U-Ming Marine Tran.	2,602	27	1,756	11

出典：Clarksons Bulkcarrier Register 2007

ドライバルク海上荷動き量

	(百万トン)										
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007 (予想)	2008 (予想)	2009 (予想)	2010 (予想)
一般炭	350	387	407	453	466	489	566	583	598	634	669
鉄鉱石	448	451	481	519	604	647	725	790	829	857	885
原料炭	174	169	173	179	191	209	197	201	210	216	222
穀物	264	260	271	264	268	277	315	322	329	336	344

出典：日本郵船調査グループ

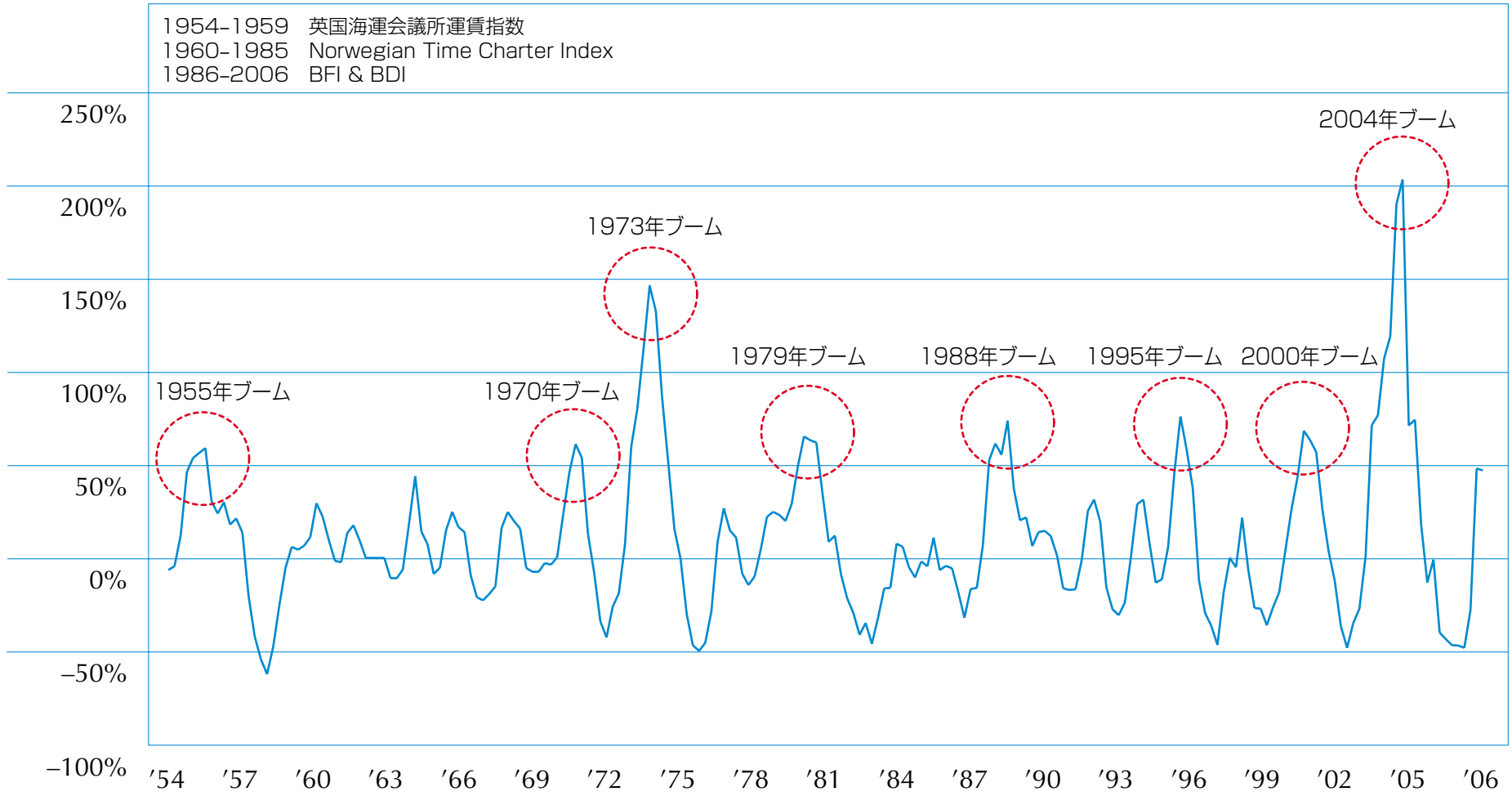
荷動き量・船腹量伸び率推移

	(%)							
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007 (予想)
ドライバルク荷動き伸び率	6.4	1.6	3.6	5.5	7.4	6.0	5.7	4.0
ドライバルカー船腹量伸び率	2.8	4.6	2.4	2.5	6.2	7.2	6.8	5.5

出典：Fearnleys Review 2006



ドライバルク・市況上昇率(前年同期比較)



タンカー(油槽船)

タンカー船隊ランキング

(2007年1月1日現在)					
ランキング	会社名	重量トン(千DWT)	隻数	うちVLCC	うちVLCC
				重量トン(千DWT)	隻数
1	Fredriksen Group	18,966	83	13,748	46
2	商船三井	14,020	93	10,789	37
3	日本郵船	9,083	42	8,053	28
4	Zodiac Maritime Agency	8,345	71	3,397	12
5	Teekay Shipping	8,037	70	—	—
6	Euronav (UK)	7,544	29	5,702	17
7	Overseas Shipholding	7,326	70	3,691	12
8	Angelicooussis Group	7,189	29	6,265	21
9	MISC	6,811	64	2,433	8
10	Dynacom Tankers	6,289	42	2,831	10
11	Vela International	6,164	26	5,772	19
12	Nat. Iranian Oil	5,951	29	4,491	15
13	Bergesen Worldwide	5,935	21	5,859	20
14	Tsakos Group	5,005	42	1,760	6
15	Sovcomflot	4,149	43	—	—
16	Novorossiysk Shipping	4,023	59	—	—
17	China Shipping	3,977	72	876	3
18	COSCO	3,899	41	1,794	6
19	A.P. Moller	3,819	40	1,853	6
20	Shipping Corp. of India	3,774	42	632	2

出典：Clarksons Tanker Register 2007

原油海上荷動き量

(百万トン)											
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
								(予想)	(予想)	(予想)	(予想)
原油	1,639	1,661	1,620	1,716	1,882	1,911	1,945	1,980	2,028	2,079	2,136

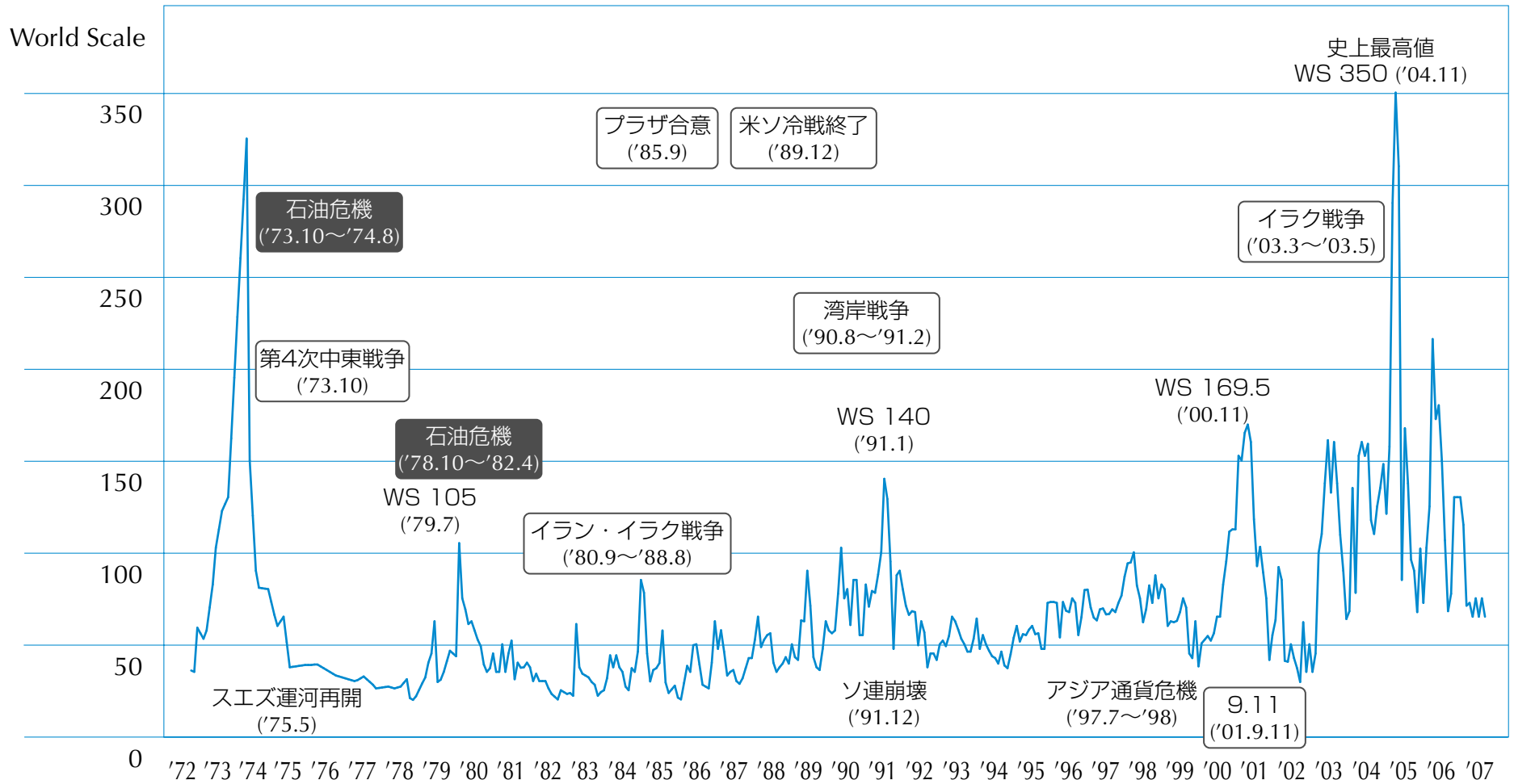
出典：日本郵船調査グループ

荷動き量・船腹量伸び率推移

(%)									
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
								(予想)	(予想)
タンカー荷動き伸び率	3.2	-0.5	-0.7	6.6	5.5	2.4	2.3	2.9	3.1
タンカー船腹量伸び率	1.8	-1.4	1.2	3.2	5.6	7.5	6.4	6.2	7.1

出典：Fearnleys Review 2006

●
原油タンカー市況 (中東→日本)



LNG船

LNG船保有隻数比較

(2006年12月期中完工分まで)

	キャパシティ		キャパシティ 1,000m ³
	隻数	シェア (%)	
日本郵船	37	5.67	1,537
商船三井	57	9.61	2,606
川崎汽船	30	2.42	658
その他日本船主	29	2.19	594
韓国	16	8.01	2,174
Project / メジャー	99	36.07	9,786
MISC	22	9.53	2,586
Bergesen Worldwide	11	4.97	1,347
Exmar	6	2.77	752
Golar	14	6.45	1,750
Others	32	11.16	3,233

備考：LNG船は、複数の会社によって共有されるケースが多くあります。隻数については、共有持分の割合に関わらず、一隻として数えております。積載能力については、一隻に対する共有持分の割合に応じて、按分計算しております。

3大市場におけるLNG取引

	(10億m ³)										
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
欧州	21.10	21.00	25.20	25.60	27.48	32.68	33.53	39.08	39.97	40.02	47.6
アジア・太平洋	70.80	80.20	84.10	85.10	92.15	98.04	102.20	103.80	113.48	118.60	122.42
北米	0.60	1.20	2.00	2.30	4.57	6.24	7.22	7.11	15.39	18.47	17.87
合計	92.50	102.40	111.30	113.00	124.20	136.96	142.95	149.99	168.84	177.09	187.89

出典：BP Statistical Review of World Energy 2006

LNG需要予測

	(百万トン)															
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
北米	15.4	22.5	27.7	40.7	60.9	83.3	95.1	115.6	121.1	124.8	125.7	122.7	132.3	147.3	162.5	177.3
欧州	38.2	41.5	42.9	55.2	59.4	65.3	83.1	89.3	89.6	94.8	95.6	99.0	92.5	92.3	99.1	97.8
アジア	92.1	96.7	102.0	106.8	114.9	123.6	129.6	140.5	149.2	157.5	163.4	168.4	172.6	177.6	180.6	184.9
合計	145.7	160.6	172.6	202.8	235.2	272.2	307.8	345.4	360.0	377.1	384.7	390.2	397.4	417.2	442.2	460.1

出典：日本郵船調査

● 物流拠点推移

■ NYKロジスティックス

	(カ所)							
	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
日本	10	8	14	14	14	20	20	21
アジア・中国	26	25	29	31	30	44	52	63
オセアニア	10	13	12	9	11	12	13	13
米州	4	5	5	16	16	22	24	24
欧州	24	34	32	37	60	56	67	69
世界合計	74	85	92	107	131	154	176	190

● 倉庫面積推移

■ NYKロジスティックス

	(m ²)							
	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
日本	87,892	74,777	134,047	134,047	134,047	156,730	154,601	150,282
アジア・中国	214,679	216,710	223,345	253,323	241,196	376,162	458,910	503,299
オセアニア	82,676	118,368	110,302	108,350	122,847	133,547	135,847	127,881
米州	88,090	96,340	106,090	200,971	303,569	319,412	323,917	345,042
欧州	201,900	286,000	365,075	422,837	636,249	629,446	762,513	760,205
世界合計	675,237	792,195	938,859	1,119,528	1,437,908	1,615,297	1,835,788	1,886,709

■ 郵船航空サービス

	(カ所)					
	2001	2002	2003	2004	2005	2006
日本	—	—	20	19	19	19
アジア・中国	18	19	23	25	30	37
オセアニア	2	2	2	2	2	2
米州	26	26	26	25	25	25
欧州	19	20	21	21	22	22
世界合計	65	67	92	92	98	105

■ 郵船航空サービス

	(m ²)					
	2001	2002	2003	2004	2005	2006
日本	—	—	47,812	45,903	65,544	65,532
アジア・中国	50,596	53,471	59,923	71,485	93,797	105,262
オセアニア	2,389	2,525	2,525	2,525	2,525	2,825
米州	57,195	60,798	58,343	59,650	60,158	62,865
欧州	33,120	39,213	45,594	47,685	52,809	64,591
世界合計	143,300	156,007	214,197	227,248	274,833	301,075

備考：1. 日本国内の拠点に関しては、一部「倉庫兼事務所」も含んでおります。
 2. 2001・2002年度に関しては、国内拠点の集計を行っていなかった為、総計は日本以外の拠点の集計となります。
 3. 集計は各年9月時点での数字となります。

● エアフォワード
 ランキング(2005年度)

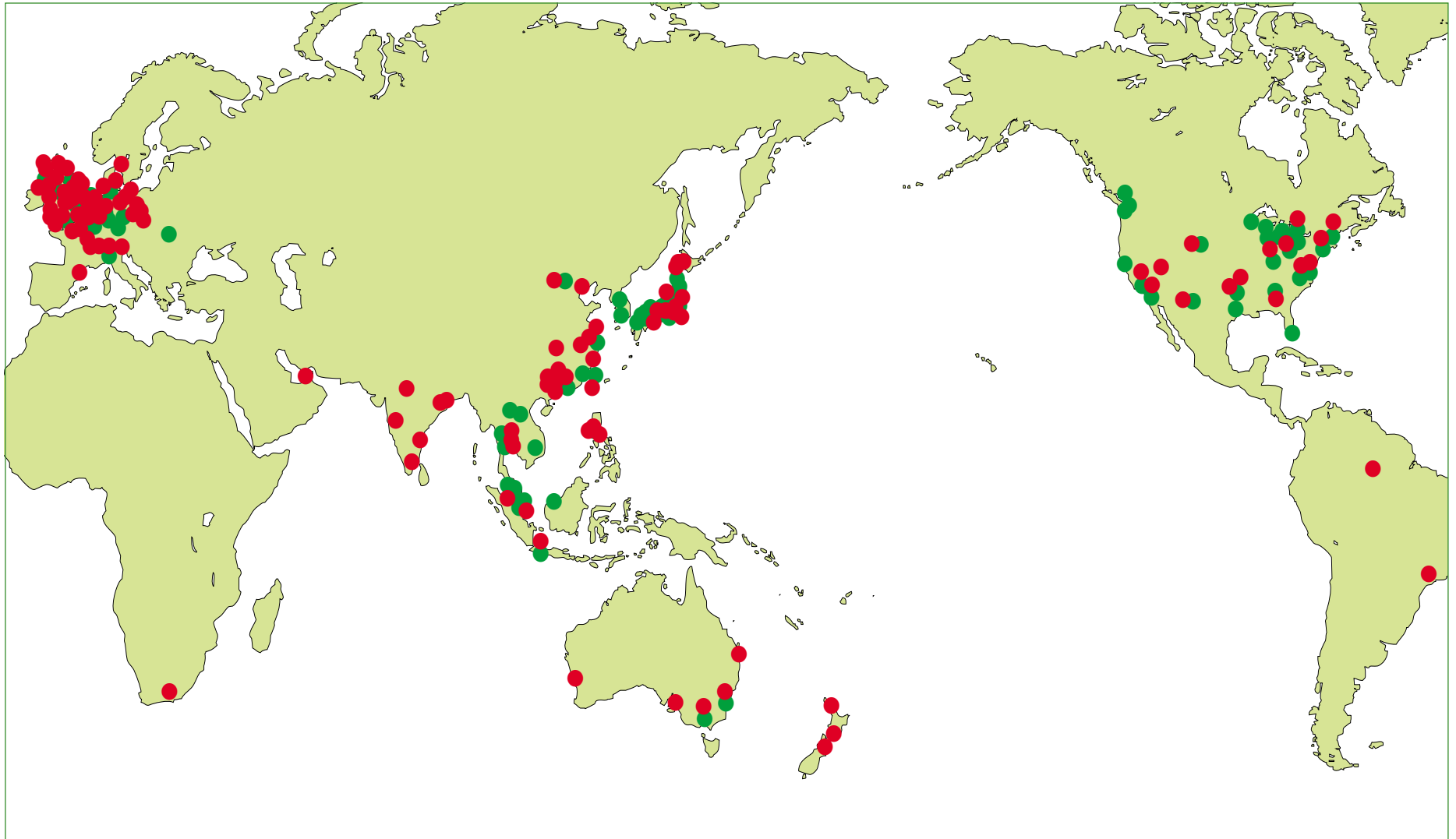
ランキング	会社名	シェア(%)
1	DHL, Danzas, Exel	12.5%
2	BAX and Schenker	6.5%
3	日本通運	5.0%
4	Kuehne & Nagel	3.2%
5	Expeditors	3.0%
6	Panalpina	2.6%
7	近鉄エクスプレス	2.6%
8	郵船航空サービス	2.5%
9	EGL	2.1%
10	UPS	1.8%

出典：IATA
 備考：IATA加盟キャリアーへの支払運賃総額のシェアになります。



物流事業(倉庫)拠点

- NYKロジスティクス
- 郵船航空サービス



ターミナル関連事業

世界のコンテナ ターミナル会社 ランキング

(2005年)			
ランキング	会社名	業務内容	取扱個数 百万TEU
1	Hutchison Port Holdings	ターミナル専業	51.8
2	APM Terminals	船社系	40.4
3	PSA Corporation	ターミナル専業	40.3
4	P&O Ports	ターミナル専業	23.8
5	COSCO	船社系	14.7
6	DP World	ターミナル専業	12.9
7	Eurogate	ターミナル専業	12.1
8	Evergreen	船社系	8.7
9	MSC	船社系	7.8
10	SSA Marine	ターミナル専業	7.3
...			
13	日本郵船	船社系	5.5

出典：Drewry Shipping Consultants Ltd.、日本郵船
備考：1. 資本10%未満の拠点は除いています。COSCOに関しては資本10%の拠点も含めて除外してあります。
2. ステバドアリング事業は除いてあります。
3. 計算方法の違いにより、各ターミナル会社が発表している数字と本表の数字には違いがあります(日本郵船はシェアに関係なく全量カウントしています)。
4. 2006年にDP WorldがP&O Portsを買収しています。

日本郵船の コンテナ ターミナル 取扱量及び 拠点数

ターミナル事業

	CY2002	CY2003	CY2004	CY2005	CY2006
取扱量(百万TEU)	5.2	5.4	5.6	5.5	5.7
拠点数(ターミナル)	13	13	13	14	13

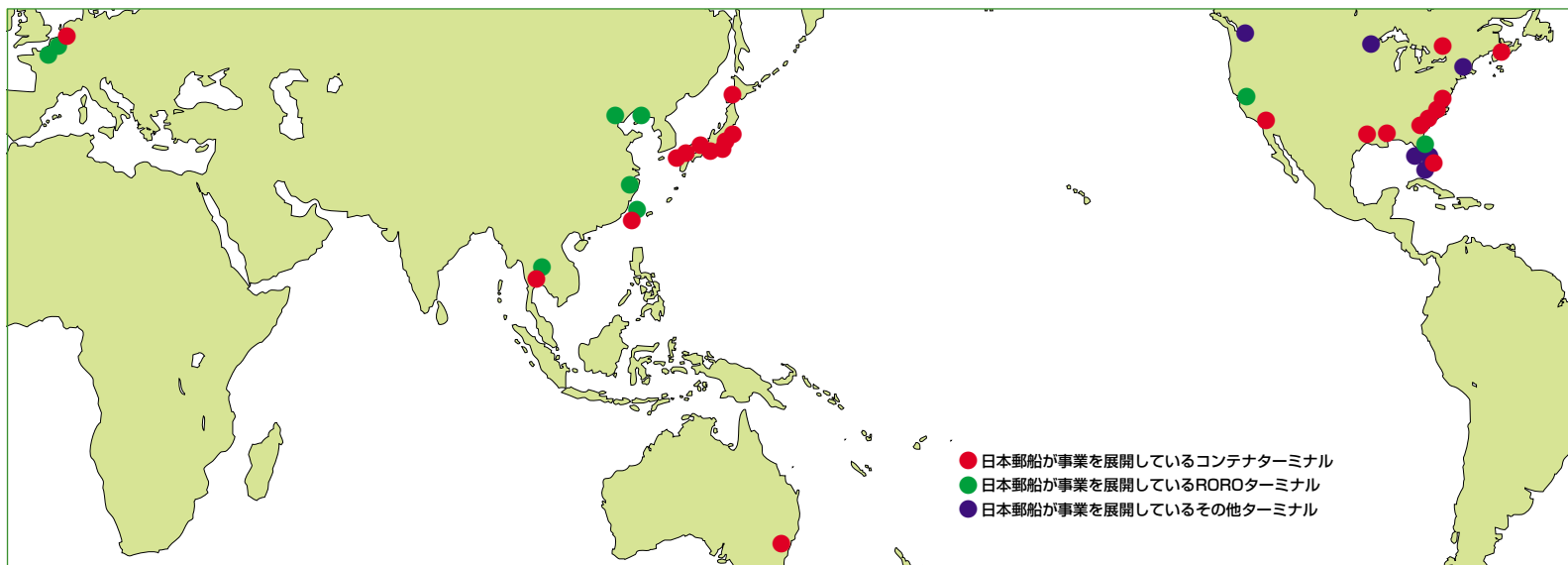
ステバドアリング事業

	CY2002	CY2003	CY2004	CY2005	CY2006
取扱量(百万TEU)	2.2	2.5	2.6	2.9	2.6
拠点数(ターミナル)	16	18	19	20	21

合計

	CY2002	CY2003	CY2004	CY2005	CY2006
取扱量(百万TEU)	7.4	7.9	8.3	8.4	8.3
拠点数(ターミナル)	29	31	32	34	34

ターミナル拠点



2006年12月時点

格付け：「Complete Guide to Cruising and Cruise Ships」2007

格付け	
Crystal Symphony	★★★★★ (Five-Stars)
Crystal Serenity	★★★★★ (Five-Stars)
Asuka II	★★★★+

世界のクルーズ人口 (万人)

	2001	2002	2003	2004	2005
北米	664	747	799	887	967
日本	20	17	14	17	16
イギリス	80	82	96	103	107
アジア(日本を除く)	80	80	60	60	60
ドイツ	39	43	43	58	64
イタリア	25	25	25	35	51
オーストラリア	20	20	25	50	50
フランス	23	23	25	25	23
スペイン	—	—	—	—	38
ギリシア	—	—	—	—	10
その他欧州	25	25	25	25	25
その他	64	158	145	104	196
世界合計	1,040	1,220	1,257	1,364	1,607

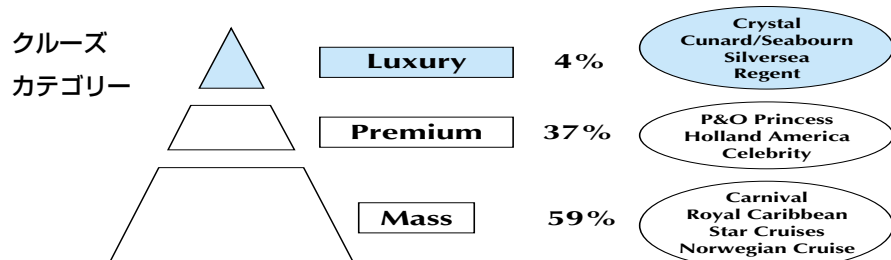
Cond' Nast Traveler: 2006 Readers' Choice Award (large-ship line)

ランキング	会社名	評価点
1	Regent Seven Seas Cruises	92.4ポイント
2	Crystal Cruises (日本郵船グループ)	92.3
3	Disney Cruise Line	85.5
4	Oceania Cruises	85.4
5	Celebrity Cruises	84.2
6	Holland America Line	79.1
7	Princess Cruises	77.7
8	Cunard Line	77.1
9	Royal Caribbean International	71.9
10	Costa Cruises	64.3

「Travel + Leisure」2006 World's Best Cruises : Large-ship Cruise Line

ランキング	会社名	評価点
1	Crystal Cruises (日本郵船グループ)	88.28 ポイント
2	Regent Seven Seas Cruises	87.37
3	Oceania Cruises	82.88
4	Celebrity Cruises	79.72
5	Orient Lines	78.67
6	Disney Cruise Line	78.31
7	Holland America Line	77.84
8	Cunard Line	77.02
9	P&O Cruises	76.63
10	Princess Cruises	76.15

出典：日本 国土交通省海事局外航課作成統計資料
 米国 CLIA(Cruise Industries Association)取り纏め資料
 世界 Berlitz発行の“Ocean Cruising” (含リパークルーズ)



航空貨物

オペレーターランキング

順位	航空会社名	実績 (百万トン)
1	大韓航空	7,982
2	ルフトハンザ カーゴ AG	7,669
3	シンガポール航空	7,603
4	キャセイパシフィック航空	6,458
5	チャイナエアライン航空	6,037
6	フェデラルエクスプレス	5,642
7	エールフランス航空	5,528
8	エバー航空	5,285
9	カーゴルックス航空	5,149
10	ブリティッシュエアウエイズ	4,760
⋮		
12	日本航空インターナショナル	4,429
⋮		
16	日本貨物航空(NCA)(日本郵船グループ)	2,417
⋮		
33	全日空	1,025

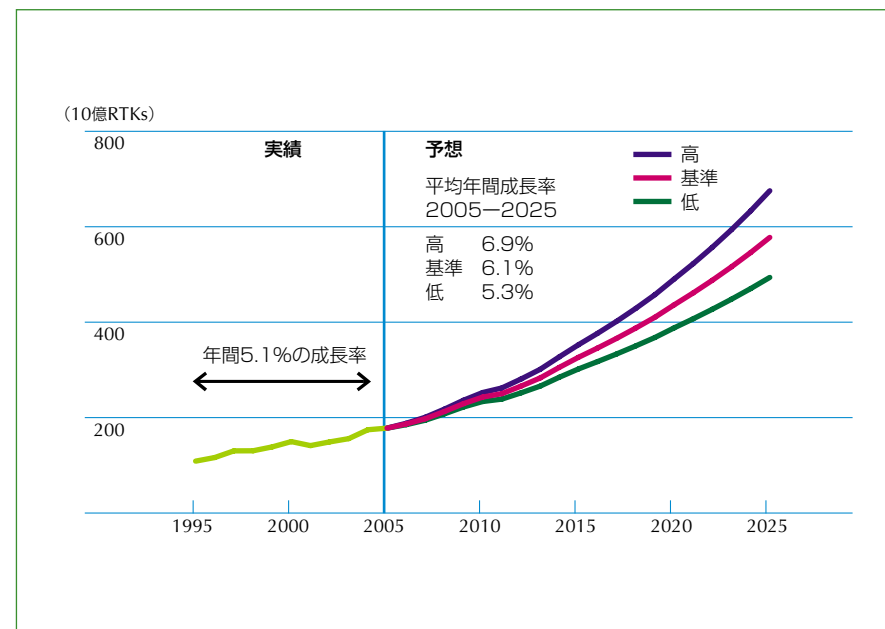
出典：IATA 国際貨物輸送ランキング 2005

日本発貨物におけるNCAシェア

											(トン)
1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	
10%	10%	9%	9%	9%	11%	11%	11%	11%	9%	9%	

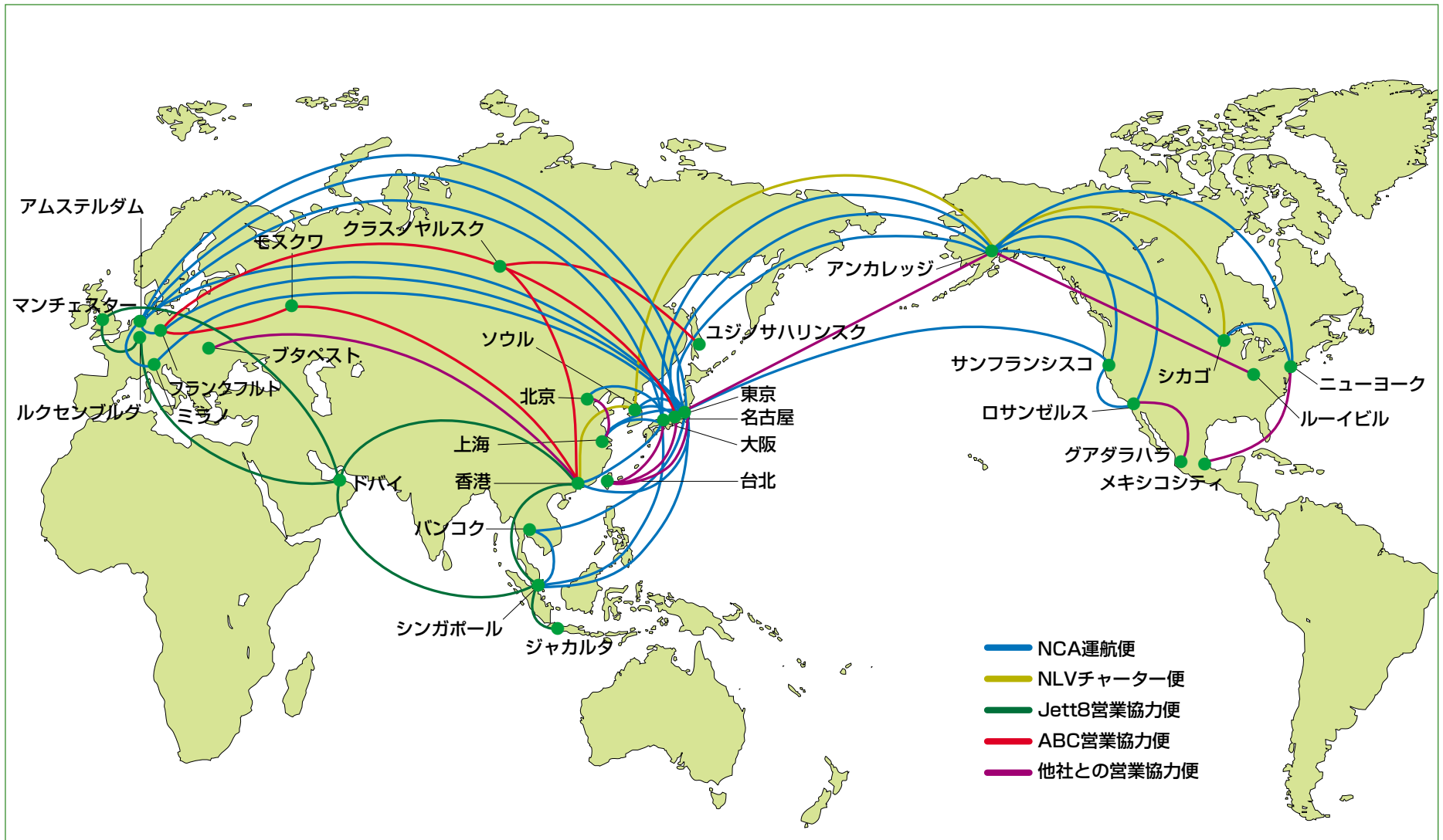
備考：NCA 推定値

今後の航空貨物の需要見通し



出典：Boeing社 World Air Cargo Forecast 2005/2006

●
NCAサービスネットワーク2007



2007年3月時点

日本郵船グループの運航船舶

船種	(各年3月期末)											
	2006		2007		2006		2007		2006		2007	
	所有(含共有)		備船等		運航船舶合計		所有(含共有)		備船等		運航船舶合計	
	隻数	Kt(DWT)	隻数	Kt(DWT)	隻数	Kt(DWT)	隻数	Kt(DWT)	隻数	Kt(DWT)	隻数	Kt(DWT)
コンテナ船(セミコンテナ船を含む)	27	952,234	114	3,724,661	141	4,676,895	28	969,476	113	4,091,154	141	5,060,630
撤積船(ケーブサイズ)*1	44	6,053,247	53	7,551,612	97	13,604,859	48	6,562,061	67	9,852,158	115	16,414,219
撤積船(パナマックス&ハンディサイズ)*2	37	1,583,374	117	5,239,678	154	6,823,052	41	1,803,320	120	5,587,192	161	7,390,512
チップ船	12	522,591	34	1,627,225	46	2,149,816	12	521,020	36	1,747,491	48	2,268,511
自動車船	37	552,723	77	1,136,470	114	1,689,193	38	567,153	77	1,157,253	115	1,724,406
冷凍船	12	118,766	15	133,952	27	252,718	12	118,766	14	125,909	26	244,675
タンカー(油槽船)	39	5,458,247	27	5,596,495	66	11,054,742	41	5,821,302	32	6,526,123	73	12,347,425
LNG船	22	606,955	0	941,455	22	1,548,410	23	666,605	1	1,038,864	24	1,705,469
客船	2	13,417	1	8,160	3	21,577	2	13,417	1	8,160	3	21,577
その他	17	138,301	20	238,329	37	376,630	19	199,140	17	216,199	36	415,339
合計	249	15,999,855	458	26,198,037	707	42,197,892	264	17,242,260	478	30,350,503	742	47,592,763

*1 ケーブサイズ Over 75,000 DWT

*2 パナマックス&ハンディサイズ Under 75,000 DWT

備考： 1. 日本郵船非連結子会社の所有船舶、備船は除いてあります。

2. 共有船の重量トン日本郵船および日本郵船連結子会社が当該船舶に有する自社持分になります。

3. “運航船舶合計”には共有船持分に限らない運航船舶重量トンが全て含まれている為、“備船等”には一部共有船の持分以外の重量トンが含まれています。



Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)と FTSE4Good Global Indexに継続採用

当社は、社会的責任投資(SRI)の2大指標であるDow Jones Sustainability World Index (DJSI World)と、FTSE4Good Global Indexの対象銘柄に2003年より4年連続で組み込まれています。

DJSI Worldは、米国の指標提供会社Dow Jones社と企業の持続可能性評価を行うSAMリサーチ社(スイス)による株式指標で、FTSE4Good Global Indexは、英国の指標会社FTSE社(英国Financial Times社とロンドン証券取引所の共同出資会社)による株式指標です。両株式指標は、企業の社会的責任(CSR)や持続可能性(Sustainability)に高い関心を持つ世界の責任投資信託(SRIファンド)、環境投資信託(エコファンド)などの投資家にとって重要な投資指標となっています。



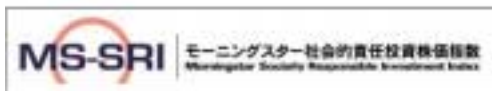
イノベスト社「Global 100」(最も持続可能な世界の100社)に選出

イノベスト社(Innovest Strategic Value Advisors^(注1))とコーポレート・ナイツ社(Corporate Knights^(注2))が共同で調査・格付けを行い2005年より発表している「Global 100」(最も持続可能な世界の100社)に、当社は日本の海運会社として初めて選出されました。

「Global 100」とは、イノベスト社の格付調査をもとに、環境、社会、コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメントに優れている企業を上位100社選出するもので、2007年は、約1,500社の対象企業から16カ国のさまざまな業界の企業が選ばれ、日本からは当社を含む13社が選出されました。

(注1) **イノベスト社**：1995年設立の独立系SRI(社会的責任投資)調査機関。本社はニューヨーク。企業の直面するリスクや企業競争力の源泉は「水面下」に存在し、それらは従来の投資分析手法のみでは測る事が困難な要素であり、水面下に存在する60~70%、すなわちコーポレート・ガバナンス、環境、人的資本、ステークホルダー資本の4項目を重視した概念「氷山のバランスシート」が有名です。大手年金基金や、機関投資家、国連、NGOなどの資産運用に関するアドバイスを行っています。

(注2) **コーポレート・ナイツ社**：2002年に設立されたカナダの独立系雑誌社。本社はトロント。企業の社会的責任関連の雑誌で世界規模の発行部数を誇ります。環境、教育、エネルギー・投資、責任投資などをテーマとした雑誌の発行や、環境に優しい企業や良き企業市民ランキングの公表などを行っています。



モーニングスター社 日本唯一のSRI指標として150の組み入れ銘柄を選定

原則年1回、継続的に企業調査、構成銘柄の見直しを行っており、当社は2004年9月1日から2006年9月まで3年連続で採用されています。

投資家情報

(2007年3月31日現在)

本店	〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目3番2号 郵船ビル TEL:03-3284-5151 FAX:03-3284-6361 http://www.nykline.co.jp
決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
株式数	発行可能株式総数：2,983,550,000株 発行済株式の総数：1,230,188,073株
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋の各市場第一部
単元株式数 (投資単位)	1,000株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告揭示新聞	日本経済新聞 貸借対照表及び損益計算書を当社ウェブサイトの次の アドレスに掲載しております。 http://www.nykline.co.jp/koukoku
会計監査人	東京都港区芝浦四丁目13番23号 MS芝浦ビル 監査法人トーマツ

大株主

	所有株式数 (株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	80,892,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	77,219,000
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	63,858,878
東京海上日動火災保険株式会社	57,275,059
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (三菱重工業株式会社口・退職給付信託口)	54,717,149
明治安田生命保険相互会社	38,899,038
株式会社三菱東京UFJ銀行	36,978,337
株式会社みずほコーポレート銀行	22,867,450
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	21,619,000
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	19,795,000

格付けの状況

	日本郵船
格付投資情報センター	AA-
日本格付研究所	AA
ムーディーズ	A3



【お問い合わせ先】

IRグループ

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビル

TEL:03-3284-6008 FAX:03-3284-6359

E-mail: iroffice@jp.nykline.com

<http://www.nykline.co.jp/ir/>